

品質の向上と製品の不具合改善に利用

自社の機器では調べることができない不具合原因の解析や研究をするために利用している。
正確なデータや解答を得られることから非常に重宝している。

本業の動向について

小麦粉・パン・菓子などの製造と販売を主要業としている。業況としては、続く原材料の高騰の影響を大きく受けているため、やや不調である。しかし、健康菓子の分野では、世間の健康志向ブームの流れに沿う格好で好調を保っている。

公設研究機関との連携事業について

連携先公設研究機関の名称

あいち産業科学技術総合センター
食品工業技術センター

(旧名称)

愛知県産業技術研究所
食品工業技術センター

所在地

愛知県名古屋市西区新福寺町 2-1-1

連携内容

製品に異常が見られた場合やお客様からの指摘などの中で、自社の機器では調べることができない分野の原因解析や研究をするために利用している。また、小麦製品の品質向上を目指した成分分析も常々行っている。

連携した動機やきっかけ

古くは20年前から交流があり、現在も頻繁に利用し続けている。社内でも何かあったらすぐに相談をするという慣習になり、問題解決の重要な助け役として大変頼りにしている。

連携の効果

専門機器による正確なデータや解答を得ることができ、それを元にした成分表示を製品に用いることで、外部メーカーへのアピールポイントとすることが可能になっている。

連携して最も効果のあったこと

研究利用した結果、実際に商品化に結びついたもの

も多くある。

連携して最も困難だったこと

長年の付き合いから、困難や不具合は感じられなくなっている。

連携するメリット・デメリットについて

自社でも専用機器を多く用意しているが、その他の揃えることができない多様な機器を利用できることが最大のメリットである。また、自社では取り扱うことのできないこと問題や課題を相談できる。デメリットとしての悪い要素は特に考えられない。

連携に際しての注意、アドバイスなど

公的な機関であることから臆することなく話すことができるため、問題の解決までの時間を短く済ませることができる。

公設研究機関との連携で行政に望む支援

調査・研究の際に利用できる補助金制度がより多くあれば、他の企業にとっても更に気軽に依頼できるものになるのではないかと感じる。

会社概要

創 立 : 1946年(昭和21年)3月

資 本 金 : 3億9930万円

従業員数 : 38名

U R L : <http://www.hotey.co.jp/>